

令和4年8月31日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

8月の運営推進会議は、コロナウイルス感染拡大防止の為、事前にホームの状況等を書面で送り、後日皆さんから意見を聞き運営推進会議開催に変えることにした。

【入居者状況】

入居者8名（女性 8名 男性 0名）

平均年齢 92歳 平均介護度 2.5

【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・体操
- ・ 計算ドリル・新聞折り・書写・雑巾縫い・
- ・ 塗り絵・折り紙・壁画作り・刺し子
- ・ 行事～日原・美都ひだまりパークへ紫陽花を観に行く・七夕作り
- ・ 地域行事～排水掃除参加

【事故・ヒヤリハット・苦情】

・ 事故 7件（転倒・負傷・誤薬）

・ ヒヤリハット 7件（転倒の危険・誤薬の恐れ・転落の危険）

【その他】

*身体拘束適正委員会

・ 身体拘束等はなし

* 研修

• 接遇研修

職員 2 名参加する。

* コロナ感染報告

- 6 月に職員 1 名が陽性となり、職員・入居者全員 PCR 検査を行ったが全員陰性にて、2 日間のみ防護服等使用した感染予防対策を行った。
- 7 月～8 月にかけて、入居者・職員の計 5 名がコロナ陽性となった。
入居者の方は施設内療養となり、保健所の方の指導を得ながら対応する事で、感染拡大を防ぐ事が出来、2 週間で収束する事が出来た。
- 応援体制がない中で、ホームの職員のみが対応していく事はかなりの不安や負担があった。
- 今後感染症の研修を受けたり、発生を想定した訓練を行い、いざという時に備える必要がある。

【意見】

- コロナ陽性者数が高止まりしており、どこで誰が感染するか分からない状況です。自分たちが感染する不安もある中で、コロナ感染を 2 週間で収束できたのは、職員皆さんの日頃からの感染防止に対する意識と覚悟を持って対応された結果だと思えます。
- 島根県が施設職員の方を対象に心のケアのための相談窓口を設置しており、不安や負担の軽減につなげていってもらえればと思えます。
- コロナ感染症の方を施設内で見る事は大変だったと思えます。地域の掃除等の参加が出来ない事は仕方がない事だと思えます。
- 行事等は回覧で回しているが、相談等があればいつでも言って欲しい。